

(事前C)

評価委員会総合評価（地球環境・気候分科会）

研究課題名： 大気環境の予測・同化技術の開発

評価委員

分科会長： 田中正之

委 員： 蒲生俊敬、田中 佐、中島映至、松山優治

評価年月日：平成21年3月19日

1. 総合評価

- (1) 実施の可否 ☒ 可 ☐ 否
(2) 修正の必要の有無 ☐ 修正の必要あり ☒ 修正の必要なし

2. 総合所見

オゾンおよびエアロゾルは、大気環境や気候に大きな影響を及ぼす大気成分であり、それらの監視・予測は、重要な気象業務の一つとなっている。本研究は、地球温暖化のような長い時間スケールに関しては、地球システムモデルの重要な構成要素を担うものであり、より短い時間スケールについては、黄砂等の予測精度の向上に貢献するものである。このように、気象業務の高度化のために必要な研究であり、社会的意義は大きく、積極的な研究推進を期待する。

なお、同化に必須の観測データについては、十分な精度を持った質の高いデータをどのようにして確保するのが重要であるので、環境省や他の研究機関等との連携・協力も活用しつつ研究を推進されたい。